

タイピックだより

12月号

2017.11.20発行

Vol.60



クリスマスカラーと軽やかな音楽に、自然と楽しさが湧いてくる十二月。街を見ても幾分にぎやかに見えます。活気づく十二月は旧暦では「しわす」と呼ばれていました。諸説ありますが師走という漢字は当て字であり、語源は、師が走るのではなく、「し果つ」「年果つ」とは「つ」が変化したという説が有力とい

われています。旧暦と新暦では、一ヶ月ほどずれている為、今では旧暦の名称・語源と実際の季節感に差が生じています。しかし「しわす」は他の旧暦の月の名称と違い、暦の上の順番を表しています。「物事をし終える月」「年が終わる月」という意味からも現在の十二月の別名としても違和感が無いのかもかもしれません。

一年末には大掃除。そう考えるだけで憂鬱になる人も多いと思います。「片づく」という言葉は、もとは片方に寄るという意味でした。物が少ない昔は、片方へ寄せるだけで良かったのですが、物があふれる時代になってからは、処分することも意味に含まれるようになりました。



こどもプログラミング教室始めています

10月開講

タイピック 園児・小学生向け コどもプログラミング教室

なぜ今、プログラミングなのか?

2020年以降、小学校でもプログラミング教育が必修化。現在の中学3年生が大学受験をする時から日本の大学入試制度(センター試験)が、これまでの暗記重視型から論理的思考力を重視した試験に大きく変わります。プログラミング学習は、これからの時代必要とされる能力を養えることに最適だと考えられ注目が高まっています

入試でも役立つ
論理的思考力を今から育成!



10月より、「こどもプログラミング教室」を始めています。文部科学省は、2020年にプログラミング教育必修化を盛り込んだ学習指導要領改定案を発表しました。

プログラミング学習は、楽しみながら論理的思考力を養うことができるため、これからの時代必要とされる能力を鍛えることに最適です。まずは、見学、無料体験に是非、お越し下さい。

＜場所＞
株式会社タイピック 1F 教室
＜受講日程＞

- 第1・第3土曜クラス
 - 第2・第4土曜クラス
- 各 90分

- ＜受講時間＞
- 10:30~12:10
 - 13:00~14:40
 - 15:00~16:40

対象年齢
園児・小学生

お子様ひとりに1台のパソコンを準備していますので、実際にパソコンを操作していただき、パソコンの基本的な操作も覚えながら、楽しくプログラミングを体験していただける体験会です。

まずは電話でご予約をお願いします

0120-733-554

タイピック株式会社タイピック 益田市常盤町7番3号

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
http://www.typic.jp

社長の

つぶやき



三年前に島根県倫理法人会が主催する百日実践トライアルで「百日間葉書を書く」ことに決めチャレンジしたが、書けずにいた時の十一月に、倫理法人会の法人レクチャラー勉強会で出会った岡山の田中さんから「私は、安岡正篤先生の一日一言を千日間葉書に書き写して同じ人に送りました」と聞き、なら自分もやろうと三年前の誕生日から書き写して送ることにし、ようやく三年をむかえることが出来た。

三年前の同じ頃に、私は致知出版社が主催する徳望塾で安岡正篤先生の「日本精神通義」を学んでおり、難しく意味が分からず苦労したこととを今でも覚えている。当時の本を開いて見ると漢字にひらがなを書き、意味を調べて書いてある。今ではこんなにまでして学んでいたのかと我ながら感心している。

この一日一言の言葉を書き写す時に、まず一読してその後書き写し、間違いがないか確認するので最低でも三回は読み、意味の分からないときは何度でも読み返して自分のものになしようと努力した。

一日一言の十一月二十四日に「人間は深い精神生活をもたなければ、本当の意味の形相・色相は養われない。結局、運というものは相に現れ、相がよくなれば運もよくなる。しかし運をよくしようと思えば、結局、心を養わなければならぬ。心を養うということは学問をすることで、したがって、本当の学問をすれば人相もよくなり、運もよくなる。すべてがよくなる。運も相も結局は学問にほかならないのである。」とあり、この言葉を大切にしながら学んでいる。

三年が終わり、次の三年間は何かを書き写そうかと思ったときに、渡部昇一先生の一日一言を思い出した。

渡部先生は今年四月にご逝去されたが、先生は今年の一月に開催された致知出版社の新春講演会で藤尾社長の講演を一番前で聞きたいと、奥様の押される車椅子で移動され、真正面で見上げるようにしながら聞かれていたお姿を今でも思い出す。あの時のお姿を思い出しながら一日一言を書き写していきたい。

渡部昇一一日一言の七月九日に読み、書き、話すには「ものを書く人は、知識や情報に正確さを期するのみならず、その性格において

も正確で几帳面になるものである。いくら頭がよくても、ものを書くことを疎んじると、知識は杜撰に流されやすく、記憶も不正確になりがちである。ものを書くということは、不断に自分の知識をチエックしていることだ」とある。私はただ書き写すだけであるが、この言葉を大切にし、自分が出来ているかをチエックしながら一日一言を書き写していきたい。



わが社の ほっとニュース



パソコン教室でちよと一息

今年十周年を迎えたゆっくりやさしいパソコン教室。毎日、多くの方々が教室に通ってきておられます。ゆっくりやさしいパソコン教室は、パソコンだけでなく、生徒さん同士のおしゃべりや、様々な楽しいイベントを通して交流をしていたいです。そんな楽しい教室に、この度、マッサージ機が設置されました。休憩中は、お茶をする方、おしゃべりを楽しむ方、マッサージ機で体をほぐしてリフレッシュされる方など、毎日、教室はとても賑やかです。皆さまも、是非一度遊びに来てください。



致知の感想



特集 一剣を起して起つ 山崎 鈴枝

一剣を起して起つとは、自分の得意業をもつて世に仕事であり、何をもちて自分の一剣とするか見定めることが第一だとあります。今まで「ナンバー1」より「ナンバーワン」を大切にしたいと思いましたが、それは、ある種の甘さであり、自分も可能性の線を引いていかないと行かないかと思いました。

今ある環境の中で最善の努力をしていくかと言えば、時間が無いと言いつつ記をする自分があり、自分で限界を決めていたかもしれない。又、自分の記事であった。今の自分に決って満足はしていませんが、一流となるべく自分に向き合う時間、向上する時間を決めて、インストラクターとしての勉強や資格取得に励行しなければならぬと思っただけではなく、実行しなければなりません。自分の事だけではなく、自分の持つスキル、ノウハウを伝えていくことも自分の使命と心得、精進していきたいと思っております。

一流になる人 一流で終わる人 村上 貴志

今回の致知を読んで感じたことは、今、自分がいる立場、おかれている立場に関係なく、与えられた状況の中で「所懸命」に行動していかないと「せき」を感じました。相手だとか、状況がどうかではなく、自分がどうなのかを常に振り返りながら、行動していく必要があると思えました。あとは物事のカタチと本質をしっかり考えながら、カタチではなく本質を理解し、良い習慣をもつて行きたいと思えました。この対談の中で「一流は一流の話がありました。人のために「所懸命」にならるかどつかた言いつ事、ただ言葉に出

しているだけでは、カタチにしかすぎないので、本質を考えて、言葉にしていくことを思っています。

テーマである「一剣を起して起つ」という言葉の「一剣」は何なのかをまずはおしかりと定め、「所懸命」に行動し、自分を磨いていかなければならないと思えました。そのため「せき」を勉強していきたいと思っております。

一流になる人 一流で終わる人 井上 良輔

今回の対談を読んで、昔は学校でレポートを書くのも確かに苦労したなと思っ出てきました。ひよこのことを調べるのに図書館で本を探し、本を読んで、欲しい記述を探すというように苦労して調べました。「ノー」なども簡単にできなかったな思いました。どこかに答えはあるんだろうけれど、それを見つけたものにも「せき」が力がかかる。例えるなら、砂漠で米粒を探す状態だったと思っております。今はインターネットですぐに情報が得られるようになりましたが、逆に見つける情報が多すぎてこれが答えかわからない。「ウォーリー」を探せ。状態ではないでしょうか。ただ、自分が苦労して得た情報や体験はどの時代でもとても貴重なものであると思っております。

今回の致知のテーマが「一剣を起して起つ」とありました。日本で剣といつて日本刀を想像します。鉄の塊を何度も鍛えることで美しい刀となります。鍛えることで耐えられる素材と鍛えていくための刀工があつて、美戦で使えると思っております。

自分の中の武器となる素材と周りの環境により、自分の中のものを成長させることが出来る。そのため、自分を常に磨き、めらめらすることを吸収できるような「アンテナ」を張って備えることを意識して、様々なことにチャレンジしていきたいと思っております。

誕生日の決意

印刷事業部

寺井 政徳



今年三月に末っ子の娘が

高校を卒業して旅立ち、四月に長女が結婚して我が家はとうとう妻との二人暮らしとなりました。結婚して直ぐに長男が誕生してから二年おきに子供がで、常ににぎやか過ぎる日々でその時は毎日が戦争でした。今思い返すとそれはそれで本当に楽しかったなあといつくづく思います。新婚期間があまりなかったの二人暮らしに多少戸惑いもありましたが先日、妻と二人で津和野に紅葉を見に行き、二人きりのなん

ゆっぴりやさいいパンソンの教室

石川 香里



半世紀、生かされてもらいました。大きな病気もせず、入院したのは、二人の子供のお産の時だけ。健康な体に産んでもらう、生活できている事は、今も健在の両親のおかげです。「親の有難みは、自分が結婚し、子供が産まれ、育ててやっとわかる。」この最近母親に言われた言葉です。下の肩に荷がおりたような気がします。

タイピックのドアを叩いたのが、二〇一三年、今年で丸四年を迎えます。いろいろな方との出会いもまの一手。

となく流れる時間はなにか心地よく今までは違つ意味で自分をリフレッシュさせてくれることに気がつきました。毎日が目まぐるしく変化していくこのご時世だからこそこんななんでもない時間がとてもいとおしく思えてきます。これからは待望の孫が出来るまで休日には少し妻と二人でゆっぴりとした時間の中で心の洗濯をしていきたいと思っております。



街で出会っても、「パンソンの教室よー」「まだ行くねー」気さくに声をかけてくれます。これからも教室に行くのが楽しみと思つて頂ける様、年々衰えていく身体と、進む老眼と付き合いつながら、日々感謝を忘れずに生きていきたいと思っております。



実父作製のカゴに生徒さんが花をアレンジしてくれました

ゆっくりやさしいパソコン教室

神戸に行こうべ

教室員バスで行く！
みんなでお酒を飲んでワイワイできる！
ご新録・お友だちも一緒にどうぞ！

白亜の客船 神戸コンチエルトで頂くフレンチランチコースと
ゆっくりやさしいパソコン教室 秋バラ愛でる神戸六甲優雅な休日
貸切 日帰りバスツアー
秋バラ愛でる神戸六甲優雅な休日

11/5(日)

白亜の客船 コンチエルト
船上ランチは フレンチコース
船内を彩る 生演奏

パソコン教室
同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします

「神戸に行こうべ」
教室初のバス旅行♪

宇治教室 中山 貴志

旅行会社のプランを教室で貸し切り、30人以上で決行できると参加を募った今回のバスツアー。集まっていたかとお心配をされていました。か「みんなで行こうよ」と声を掛け合い、お誘いいただき、また、教室の受講生だけでなく、ご家族やお友だちにも一緒に参加していただけ、宇治教室初となるバス旅行を無事に行うことができました。しかも当日はこれ以上ないぐらいの晴天で、最高の行楽日和となりました♪

「神戸に行こうべ」と題した今回の旅



船に乗ってのお食事はとっても優雅で、普段見ることができない関西空港や明石大橋の海からの眺めも最高でした。

続いては、今回の目玉！「白亜の客船コンチエルト」で、生演奏を聴きながらフランス料理のランチを♪



行、最初の行き先は、「神戸ワイナリー」へ。新作ワインの試飲をして、いい気分。でワイン畑の見学を♪



今回、みなさんと一日一緒に過ごす貴重な機会に、「また来年もぜひ」という声もいただきました。次はどこに行こうか楽しみになっています♪

帰りに新しくできたオシャレな道の駅「ファームサーカス」に立ち寄りお土産を買われ、みなさん大満足のご様子♪



当初予定していた「六甲カントリーハウス」での秋バラのローズウォークは台風でバラが散ってしまったため、急遽、「六甲高山植物園」で少し早めの紅葉を楽しむことに。

高山だけあり、少し肌寒く感じたものの、色づいた秋の訪れに、思わずカメラを構える姿がチラホラと♪

ゆっくり やさしい
パソコン教室
Type

同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします

シニア・初心者のためのパソコン教室です

- 益田教室 島根県益田市常盤町7-3 株式会社タイピック1F
- 浜田教室 島根県益田市相町1391-8 シティバルク浜田3F
- 廿日市教室 広島県廿日市市木村港南3-14 安野産業株式会社2F
- 萩教室 山口県萩市土原川445 萩ショッピングタウンG棟
- 宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山32-2 石田ビル1F